

新潟民医連に加盟する法人・事業所の取り組みを紹介します。

2024年7月10日（水）

発行者：宮野 大

新津健康友の会 地域包括ケアセミナー ～つながりマップづくりに向けて～

6/28、下越病院講堂で、**70人以上**が参加して、セミナーが開催されました。
講師は、下越病院の千葉茂樹医師で、「地域包括ケアについて」をテーマに講演がありました。
内容は以下のとおりです。

- ・地域包括ケアについての概要（新潟県の高齢化の現状含む）
- ・地域包括ケアの構成要素：住まい、生活支援、予防、介護、医療
- ・自助、互助、共助、公助について
- ・地域包括ケア構築の流れ
- ・新潟市秋葉区の現状
- ・「つながりマップ」作成

※千葉医師の発表データ↓

<https://x.gd/30pc1>



講演の冒頭、千葉医師より、

「地域包括ケアということを知っていますか？」という質問には、**ほぼ全員が手をあげたの**に対し、**「説明ができますか？」**という質問には、**職員も含めてほとんど手上げがありません**でした。

その流れで、千葉医師からは、「**地域包括ケアシステムは2005年にその言葉が提唱され、2025年度に完成予定です**」と伝えられると、会場からは驚きの反応がありました。それだけこの地域包括ケアシステムが、私たち国民の側に十分に周知されていないこと、また利用する私たち市民の生活状況や思いが十分に汲み取れていないのではないかと感じました。

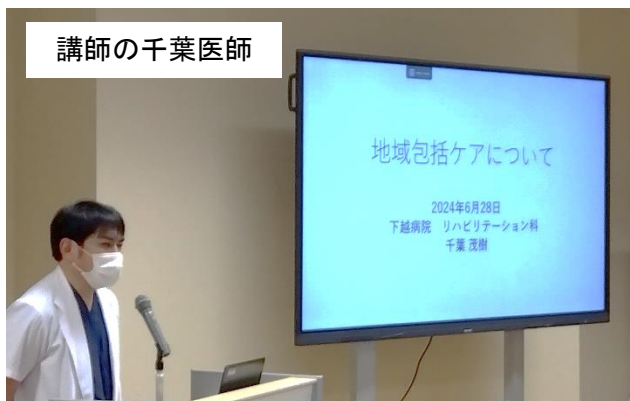
講演は、以下の内容でまとめられ、**今後のつながりマップ作成が呼びかけられました**。

- ・少子高齢化に対応した医療・介護サービスの変革
- ・高齢者が健康で長く在宅生活しやすくなる可能性あるが、**自助・互助と責任を個人や地域に押し付ける傾向あり**
- ・新潟民医連・友の会の運動として地域格差を低減し、公助を強めるよう訴えかけていく必要があるが、**まずは地域の実情・資源（自助・互助）を把握していく必要がある**
⇒**つながりマップを作成してみましよう！！**

セミナーでは、

- ・地域包括支援センター新津より、地域包括支援センターの紹介
- ・友の会事務局より「マップづくり」の開催日程についても提案がされました

講師の千葉医師



会場いっぱいの参加者

